

「ロジカル・コミュニケーション」 論理構成力トレーニング

ロジカル・コミュニケーションや論理思考の基礎既習者の方を対象に、
メッセージの論理構成力を磨くプログラムです

セミナーのねらい

報連相や依頼・指示・提案、指示などのメッセージが、相手に分かるように、納得してもらえるように組み立て、そして表現すること。これを、論理思考をベースに行うアプローチがロジカル・コミュニケーションです。

この講座では、ロジカル・コミュニケーションについて「基礎は知っている」「学んだことがある」という方を対象に、メッセージの構成力を磨きます。

例えば、研修を受けたことはあるし、本を読んだ経験もあるけれど、MECE（重なりなく、漏れなく）という概念をうまく使えない。結論と根拠を整理するための原則は実践しているつもりだが、「それ、どうのこと？」とよく聞かれてしまう。順序立てて説明しているつもりだが、「ロジックが通ってないよ」と言われてしまう。

このような問題意識をもつ方やトレーニング機会がほしいという方と、ロジカル・コミュニケーションの要であるメッセージの構成を、演習を通して学ぶプログラムです。

ロジカル・コミュニケーションは「知識」ではなく、「技術」です。ロジカル・コミュニケーションの手法をどう使うかを体得したい方、自分のメッセージのチェック・ポイントを把握したい方のご参加をお待ちしています。

部下や後輩に、構成力アップのためのアドバイスをしたいと考えている方もぜひご参加ください。

照屋 華子 氏

コミュニケーション・スペシャリスト

東京大学文学部社会学科卒業。(株)伊勢丹 広報担当を経て、マッキンゼー・アンド・カンパニーでコンサルティング・レポート等の論理構成・日本語表現にアドバイスをするエディティング、ならびにコンサルタントやクライアント対象のロジカル・コミュニケーションのトレーニングを企画・実施。

現在は独立し、組織におけるロジカル・コミュニケーションのスキル定着のためのサポートやエディティングの提供とともに、論理思考やロジカル・コミュニケーションに関する企業研修を多数企画・実施している。また、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院教授、首都大学東京大学院社会科学部経営学専攻非常勤講師を務めている。著作に『ロジカル・シンキング練習帳』、『ロジカル・ライティング』、共著に『ロジカル・シンキング』（いずれも東洋経済新報社）。



プログラム

- 確認
 - ロジカル・コミュニケーションの基本の考え方
 - ・伝わるメッセージを作るために重要な視点
 - ・伝わるメッセージの全体像と構成の基本手法【ウォーミング・アップ】
- ポイント1:
 - 基本手法を使いこなす
 - MECEとSo What?/Why So?
- ポイント2:
 - 速く確実に伝えるための「要旨」を作る
- ポイント3:
 - 導入部の納得感を高める
- ポイント4:
 - 論理構成を支えることばの使い方
- QA

日時

2019年11月29日(金)
13:00～17:00

会場

日本経済新聞社6階
「日経・大手町セミナールーム1」
(日経カンファレンス&セミナールーム内)

受講料

41,800円(税込み)

対象者

マネージャー、リーダー、新任、部長、課長、
中堅、若手

レベル

基礎、実践